

簡易懸濁法による投与方法

- ① 薬局に連絡し、専用の容器とトレイを取り寄せる。
- ② 1回分の薬を容器に入れる。
(包装紙に赤線を引いた薬がある場合は薬包紙の上からペンチなどでつぶし、これも入れる)
- ③ 55度のお湯を赤線のところまで入れる。
- ④ 10分間 放置します。
(これで錠剤、カプセルが溶けます。ここで振り混ぜる方が溶けやすいです。)
- ⑤ “投与前に懸濁してください”と書かれたビニール袋に入っている薬は投与直前に④に入れ、振り混ぜる。
- ⑥ 経管栄養終了後、チューブを少量の人肌程度の湯で洗い流す。
- ⑦ 溶かした薬を経管投与用のシリンジに吸い取り、薬剤を投与する。
- ⑧ 人肌程度の湯をシリンジにとり、チューブを洗い流す。

★退院や内服可能により、簡易懸濁法が終了となったら

専用の容器とトレイは氏名ラベルをはがさず薬局へ返品してください。

①



②



③ ④



⑤



⑦



抗がん剤の投与方法

- ① マニュアルに従い、手袋などの防護用具を着用する。
- ② シリンジのピストンを抜き取り、薬剤を入れる。
- ③ ピストンを戻し、55°Cのお湯 20m L 吸い取る。
- ④ キャップをし、溶解するまで放置する。
- ⑤ 経管栄養終了後、チューブを少量の人肌程度の湯で洗い流す。
- ⑥ 振り混ぜて崩壊を確認し、薬剤を投与する。
- ⑦ 人肌程度の湯をシリンジにとり、チューブを洗い流す。

★キャップは付属のシリンジキャップを使用してください。

②



③



④



⑥

